

平成29年度 盛岡市出資等法人 経営状況調査表

(平成29年4月1日現在)

1 法人の概要

法人名	盛岡中央市場冷蔵株式会社	所管課	中央卸売市場業務課
所在地	〒 020 - 8567 盛岡市羽場10地割100番地		
電話番号	(019) 638 - 7605	設立年月日	昭和43年7月13日
代表者	代表取締役社長 菊池一裕 <input checked="" type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤	<input type="checkbox"/> 市OB <input type="checkbox"/> 市現職 <input checked="" type="checkbox"/> その他	
設立目的	盛岡市中央卸売市場水産物部における卸売業者、仲卸業者及び売買参加者の出資により、開設区域内での水産物の安定供給を図るため、冷凍・塩蔵魚介類等の冷蔵保管及び製氷販売を目的として設立された。		
主要事業	① 冷凍及び冷蔵保管事業 ② 製氷及びその販売事業 ③ 前各号に附帯する一切の事業 ④		

2 情報公開の状況

法人のホームページの有無
<input type="checkbox"/> ある (アドレス http://)
<input type="checkbox"/> 作成中・作成計画あり (公開予定時期 平成 年 月) <input checked="" type="checkbox"/> 作成予定なし
法人ホームページでの情報の提供内容(作成中の法人においては提供予定内容)
<input type="checkbox"/> 事業内容 <input type="checkbox"/> 財務状況 <input type="checkbox"/> 役員氏名 <input type="checkbox"/> その他()
ホームページ以外での情報提供の方法

3 職員構成

(単位:人)

		常勤			非常勤	合計	
			うち市OB	うち市派遣			
役員	取締役	2			3	5	
	監査役				1	1	
	計	2	0	0	4	6	
職員	管理職	正職員			0	0	
		臨時職員		—	—		
	一般職	正職員	10			1	11
		臨時職員		—	—		
	計	正職員	10	0	0	1	11
		臨時職員	0	—	—		
前年度と比較して職員数の増減		増 0	減 0	常勤職員の平均年齢	54	歳	
常勤職員の給与体系							
<input checked="" type="checkbox"/> 法人独自の給与体系 <input type="checkbox"/> 市の給与体系を準用 <input type="checkbox"/> その他()							

4 財政状況等

資本金 (基本財産)	60,000 千円	本市出資等額	30,000 千円	本市出資等割合	50.0 %
主な出資等者					
① 盛岡市			(出資等割合	50 %)	
② 盛岡水産株式会社			(出資等割合	48.2 %)	
③ 盛岡水産物商業協同組合			(出資等割合	1.6 %)	
④			(出資等割合	%)	
⑤			(出資等割合	%)	
平成29年度における当市の財的関与の状況	補助金	6,133 千円	(収入全体の	6.4 %)	
	負担金・交付金	0 千円	(収入全体の	%)	
	委託料	0 千円	(収入全体の	%)	
	指定管理料	0 千円	(収入全体の	%)	
	貸付金	0 千円	(収入全体の	%)	
補助金内訳					
① 盛岡中央市場冷蔵株式会社施設建設費償還補助金	(平成29年度予算額	6,133 千円)			
②	(平成29年度予算額	千円)			
③	(平成29年度予算額	千円)			
負担金・交付金内訳					
①	(平成29年度予算額	千円)			
②	(平成29年度予算額	千円)			
委託料内訳					
①	(平成29年度予算額	千円)			
②	(平成29年度予算額	千円)			
指定管理料内訳					
①	(平成29年度予算額	千円)			
②	(平成29年度予算額	千円)			
③	(平成29年度予算額	千円)			
貸付目的	(貸付金がある場合記入)	利用料金対象施設		(利用料金制を採用している施設がある場合記入)	
		利用料金収入(平成29年度予算額		千円	
		法人の収入全体の		%	

5 指定管理者となっている公の施設(現在、公の施設の指定管理者となっている団体のみ記入)

施設の名称	
-------	--

6 法人の経営内容の詳細

(1) 取組目標

指標名	単位		平成26年度	平成27年度	平成28年度
①冷蔵庫収入	千円	計画	93,620 千円	93,314 千円	86,320 千円
		実績	84,987 千円	86,074 千円	81,924 千円
②凍氷収入	千円	計画	12,900 千円	9,997 千円	10,938 千円
		実績	10,195 千円	10,143 千円	10,975 千円
③経常損益	千円	計画	3,236 千円	13,398 千円	5,226 千円
		実績	180 千円	2,973 千円	1,907 千円
④		計画			
		実績			

- ※ 1 中長期計画等を策定している場合、計画に盛り込まれている目標等を記載してください。
- 2 中長期計画等を策定していない法人で、毎年度の目標等を設定している場合は、その目標等を記載してください。
- 3 毎年度の目標等を設定していない場合は、法人の活動が具体的に数値として表れるものを記載してください。

(2) 経営状況

(単位:千円, %, 人)

区 分		平成26年度	平成27年度	平成28年度
収支の状況	売上高(A)	95,183	96,217	92,899
	売上総利益	94,215	95,289	91,507
	販売費・一般管理費(B)	100,148	96,277	94,805
	営業利益	▲ 5,933	▲ 987	▲ 3,298
	経常利益(C)	180	2,973	1,907
	税引前当期純利益	180	2,973	2,045
	当期純利益	▲ 5	2,788	1,860
財産の状況	資産(D)	139,887	132,582	117,480
	うち流動資産(E)	21,076	28,468	26,576
	うち固定資産	118,811	104,114	90,904
	負債	86,333	76,239	59,277
	うち流動負債(F)	20,681	25,912	21,469
	うち短期借入金(G)	3,720	14,220	11,520
	うち有利子負債(H)	3,720	14,220	11,520
	うち固定負債	65,652	50,327	37,808
	うち長期借入金(I)	58,255	44,035	32,515
	うち有利子負債(J)	58,255	44,035	32,515
純資産	53,554	56,343	58,203	
うち資本金(K)	60,000	60,000	60,000	
うち剰余金(L)	▲ 6,446	▲ 3,657	▲ 1,797	

区 分		平成26年度	平成27年度	平成28年度
組織の状況	常勤役員数(M)	2	2	2
	うち本市OB			
	うち本市派遣職員			
	職員総数(N)	11	11	11
	うち常勤職員数	10	10	10
	うち本市OB			
	うち本市派遣職員			
	うち管理職員数	0	0	0
	常勤役員比率(M/総役員数)	28.6	28.6	28.6
	管理職員比率	0.0	0.0	0.0
職員新規採用数				1
	うち常勤職員数			1
経営指標	売上高経常利益率(C/A)	0.1	3.1	2.0
	販売費・一般管理費比率(B/A)	105.2	100.0	102.0
	流動比率(E/F)	101.9	109.8	123.7
	借入金依存度((G+I)/D)	44.3	43.9	37.4
	自己資本比率((K+L)/D)	38.2	42.4	49.5
	有利子負債比率((H+J)/(M+N))	115.7	103.3	75.6
	職員一人当たり売上高(A/(M+N))	7,321	7,401	7,146
本市の財政的関与等の状況	補助金額	7,264	5,340	6,253
	①	7,264	5,340	6,253
	②			
	③			
	負担金・交付金額			
	①			
	②			
	委託金額			
	①			
	②			
	上記のうち再委託額			
	上記業務の委託契約方法			
	指定管理料			
	①			
	②			
	③			
	貸付金額			
損失補償額				
債務保証額				

平成28年度決算の概要

冷蔵庫収入は、入庫ベースでの取扱数量では、前期は僅かながら増加傾向にあったものが一転、全体で500トン余りの減少となり、ここ10年で最低の数量となった。金額でも、売上高は、前年比95.2%の81,924千円となり4,150千円の減収となった。

凍氷収入は、盛岡市やイベントによる場内外へのPRが実を結び、夏の最盛期の晴天も後押しし、場内販売分はやや落ち込んだものの、取扱数量は前年比107.1%の452トン、売上高は前年比108.2%の10,975千円となり832千円の増収となった。

一般管理費は、原油安を背景とした電力料金の引き下げと、機械保守料の減少により、全体では前年比98.4%で1,472千円を削減することができた。

借入金返済額は、12,507千円で、盛岡市から6,253千円の補助金収入があった。

7 所管課による財務状況についての点検評価結果

B	A:良好, B:概ね良好, C:改善を要する, D:大いに改善を要する
(コメント)	
今後も倉庫収入に占める場外取引先の拡大を図ると共に、運営資金のより一層の安定化のため償還計画が円滑に進められるよう、市としても支援を継続していく。	

※参考(別紙フローチャートによるチェック)

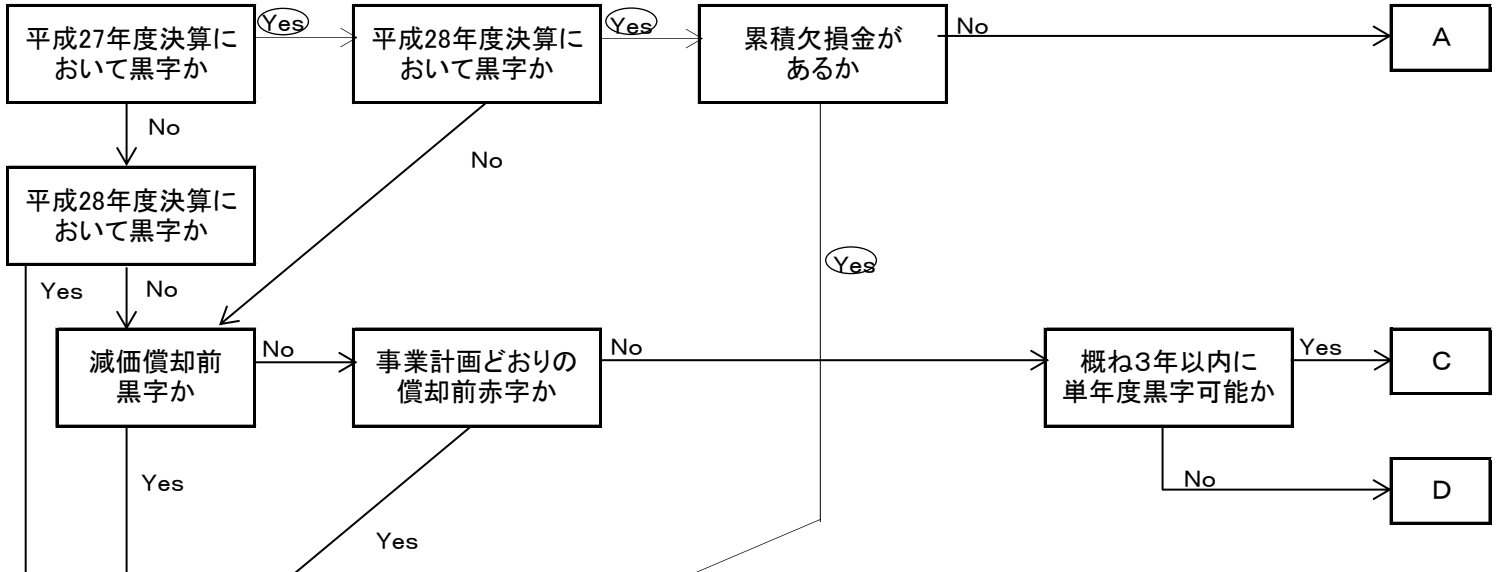
番号	質問	チェック欄	
		はい	いいえ
1	平成27年度決算において黒字である。	○	
2	平成28年度決算において黒字である。	○	
3	累積欠損金がある。	○	
4	平成28年度決算において減価償却前黒字である。	○	
5	事業計画どおりの償却前赤字である。		
6	概ね3年以内に単年度黒字可能である。	○	
7	累積欠損金があるが、対自己資本比率は50%未満である。	○	
8	累積欠損金があるが、対自己資本比率は50%～100%である。		
9	累積欠損金があるが、対自己資本比率は100%超である。		

フローチャートによる判定

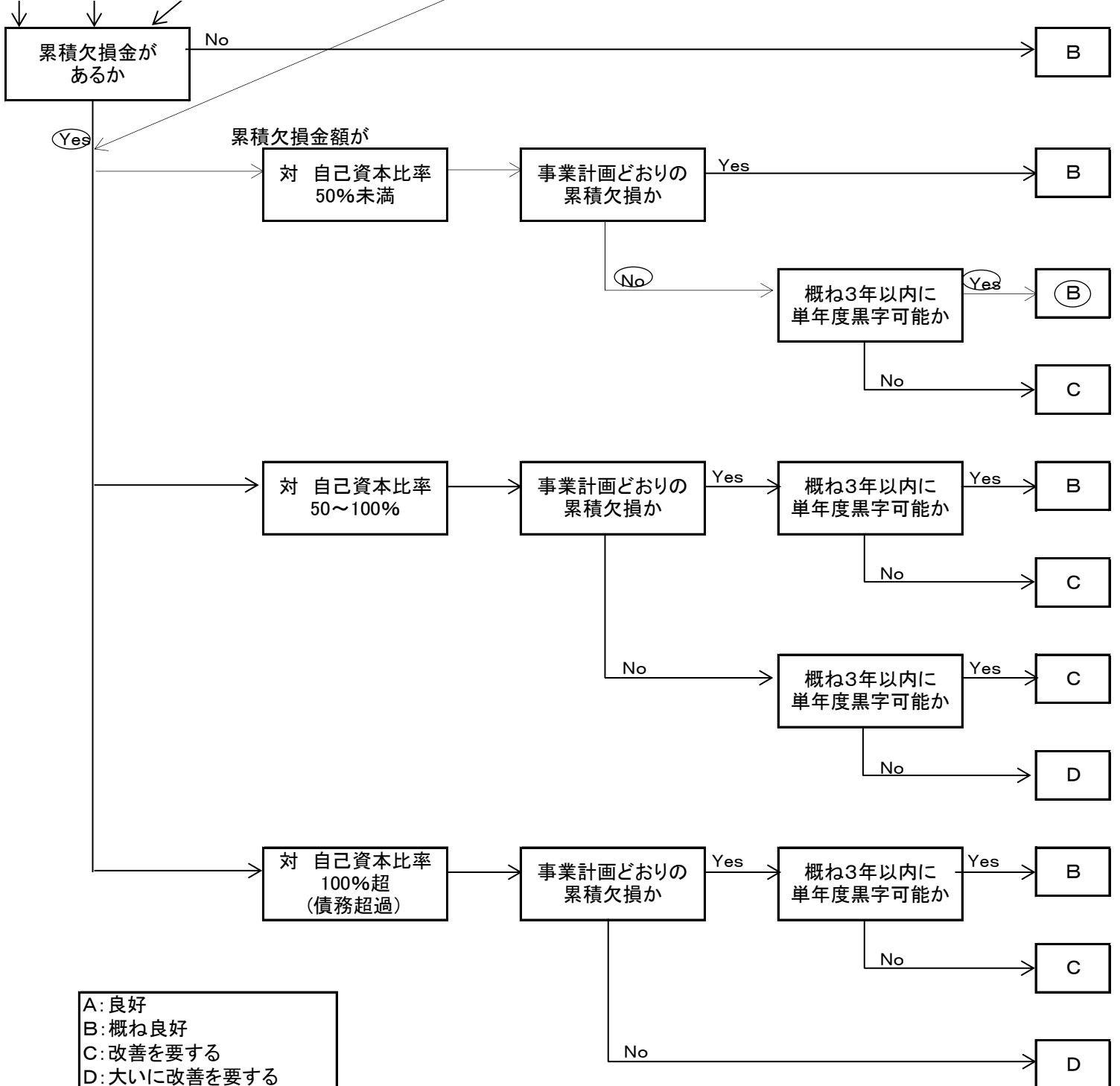
<別紙>

(下記の該当する"Yes", "No"及びA~Dを○で囲むこと。また、判定の根拠についてもコメント欄に併せて記載すること。)

<損益計算書からみて>



<貸借対照表からみて>



- A: 良好
- B: 概ね良好
- C: 改善を要する
- D: 大いに改善を要する